

特許情報開示

名古屋工業大学

開示番号	発明の名称	発明の概要	出願番号	出願日
2711001	ジフルオロメチルチオ化試薬およびジフルオロメチルチオ-エナミン誘導体の製造方法	反応途中段階で、より活性化された構造に変換され、温和な条件下(常温常圧)でジフルオロメチルチオ化を可能とする。 様々な医・農薬の製造過程に見られる合成中間体であり、そのため、ジフルオロメチルチオ基を持つエナミンは、新しい合成中間体として有用である。	2015-203685	2015/10/15
2711002	グラフェンデバイスおよびその製造方法	基板移し替え工程を伴うことなく、欠陥の無いグラフェン層を所望の部位に形成できること、に加え、自己形成グラフェンデバイスの実現を可能とする。 非導電性/導電性基板に堆積させたアモルファスカーボン層上に、薄膜遷移金属層、厚膜遷移金属層からなる矩形パターンが形成され、加熱処理にて薄膜遷移金属層を厚膜遷移金属層側へ凝集させ、厚膜遷移金属層下のカーボン層に析出させたグラフェン層上に、電極用絶縁体を配し、電極用絶縁体にゲート電極を、ゲート電極を挟む両側にソース電極、レイン電極を、形成させる	2015-212450	2015/10/29